



招提中学校だより 4月

VOL.1

4月8日(火)発行

生徒数410名

1. 第53回入学式をおこないました。

ご入学、ご進級おめでとうございます。

桜花満開の好季節です。4月7日(月)に入学式を実施し、希望に満ちた130名の新1年生を迎えることができました。子どもたちは、新しい学校での学習や生活に希望といくらかの不安を抱いて、入学式を迎えたことと思います。私たち教職員は、そのような子どもたちの思いを受け止め、子どもたちにとって、毎日が楽しいと実感できる学校となるよう、教育活動を進めてまいります。

保護者の皆様におかれましては、昨年度同様、本校教育活動に対しまして、温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2. 他に、新しく11名の教職員が着任しました。

4月8日(火)の始業式において、子どもたちに新しく招提中学校に着任した教職員を紹介しました。これから、子どもたちや保護者の皆さん、地域の皆さんとともに、大切な時間を過ごすことになります。子どもたちが笑顔で充実した毎日を過ごせるように取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

3. 学年通信や学級通信が発行されています。

新年度が始まり、学年通信や学級通信で子どもたちへの思いを発信しています。その一部をご紹介します。

○入学おめでとうございます。新しい学校生活がはじまりました！中学校生活は、勉強だけではなく、友達との交流や部活動など、様々な経験が待っています。最初は不安なこともあるかもしれませんが、焦らず、一步一步進んでいきましょう。(1年生の学年通信から)

○「さあ、2年生のスタートです。すべてはあなたの心と行動次第。初日をあなたはどのような表情で過ごしていますか？笑顔で過ごすか、無表情で過ごすかはあなた次第。でもその一歩が次の一歩につながっていくことを忘れずに過ごしてくださいね」(2年生の学年通信から)

○「努力は全ての扉を開く、一人一人が自分の花を咲かせて、努力で未来の扉を開く一年です。みなさんが咲かせた花が一年後に学校全体として大きな花束になることでしょう。」(3年生の学年通信から)

子どもたちに“努力”や“心構え”などを大切にしたいといった先生方の思いが伝わってきます。

茶道に由来する日本のことわざに「一期一会」という言葉があります。「一期一会」とは、「人との出会いや物事を行う機会は、生涯で一度きりであり、二度と同じ機会は訪れない、だから一度きりの機会を大切にせよ」という意味で用いられるそうです。

是非、このことわざが意味するように、今の出会いを大切に、これまでの関係性からくる先入観にとらわれることなく、新しい見方や考え方もう一度友達やクラスを見直し、新しい発見や経験をクラスの仲間とたくさんして欲しいと思います。そして、新しい学年、新しいクラス、新しい担任の先生のもと、互いに絆を深め、招提中学校1番の思い出に残る学年、クラスになることを願っています。